

## 今月の経済動向（平成28年3月）

### ● 月例経済報告

	前回（2月25日）	今回（3月23日）	変化*
基調判断	景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。	↓
個人消費	総じてみれば底堅い動きとなっている。	消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。	↓
設備投資	おおむね横ばいとなっている。	持ち直しの動きがみられる。	↑
住宅投資	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。	→
雇用	改善している。	改善している。	→
生産	このところ横ばいとなっている。	このところ横ばいとなっている。	→
輸出	弱含んでいる。	おおむね横ばいとなっている。	↑
国内企業物価	緩やかに下落している。	緩やかに下落している。	→
消費者物価	緩やかに上昇している。	緩やかに上昇している。	→
海外経済	弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。	弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。	→

\* 前回からの変化：上方修正 ↑、下方修正 ↓、据え置き（表現変更） →

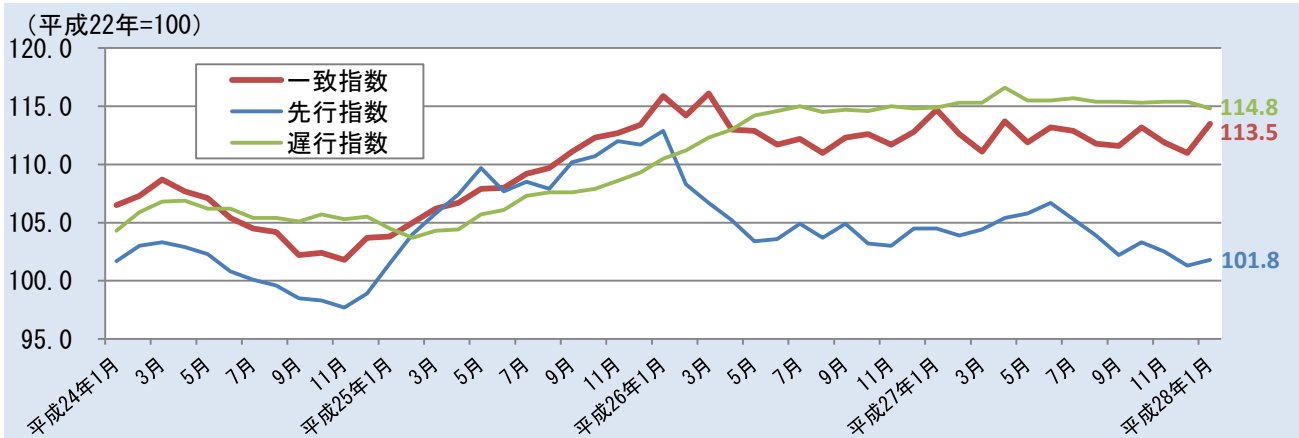
\* 下線部分は先月からの主要変更点

[月例経済報告：内閣府](#)

### ● 景気動向指数（平成28年1月）

平成28年1月のCI一致指数(改訂値)は前月より2.5ポイント高い113.5ポイントとなり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。CI先行指数は2ヶ月ぶりに上昇し101.8ポイント、運行指数は3ヶ月ぶりに低下し114.8ポイントとなった。景気の基調判断(CI一致指数)は、「足踏みを示している」を据え置いた。

・ CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)